



連合徳島

vol. 265

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行: 日本労働組合総連合会徳島県連合会
編集責任者 島 和久

当面の日程

- 1月19日(火) クラシノソコアゲ応援団! 2016RENGOキャンペーン(JR駅前)
- 2月4日(木)~5日(金) 第36回部落解放・人権徳島地方研究会(あわぎんホール・他各会場)
- 2月4日(木)~6日(土) なんでも労働相談ダイヤル(連合徳島会議室)
- 2月5日(金) 2016春季生活闘争開始宣言徳島集会(労働福祉会館別館5階ホール)

2016年 連合徳島 新年旗開き

旗開きで連合徳島活動開始

2016春季生活闘争に全力で展開 第24回「大西 聡」氏 比例代表全員勝利へ 参議院選挙

連合徳島は1月6日、阿波観光ホテルで「2016年新年旗開き」を開催した。来賓として、飯泉徳島県知事をはじめとして行政関係者、経営者団体、政党、各労働福祉団体、各構成組織等から、約1300人が参加した。

司会進行は、島連合徳島事務局長、藤田連合徳島女性委員会事務局長が担当し、新年旗開きにあわせて作成した「構成組織組合旗パネル」の除幕披露によりスタートし、開会あいさつは、鎌谷連合徳島副会長が務めた。



構成組織組合旗パネルを背に、主催者代表挨拶をする森本会長

冒頭、主催団体を代表し森本連合徳島会長は、来賓への謝辞ならびに今年から連合徳島単独主催となったことに触れると共に、戦後70年の節目となった昨年連合徳島が7月4日に行つた徳島大空襲を語り継ぐ記念行事等を振り返った。また一方で、安全保障関連法案の成立や労働者保護ルールの改悪阻止の取り組みに触れるとともに、組織拡大については、地域ユニオンに新規2組合が結成されたことを報告した。

連合徳島は12月23日、「クラシノソコアゲ応援団! 2016RENGOキャンペーン」街宣行動をJR徳島駅前で行った。祝日の要請にもかかわらず、各構成組織から40人が参加し、市民にピラを配りながら、新キャンペーン開始を宣言した。



連合は、働く者・生活者の立場から「働く人が報われる社会」を念頭にいた社会的対抗軸を、組合員だけでなく、広く国民に訴える「クラシノソコアゲ応援団! 2016RENGOキャンペーン」を12月8日にスタートさせた。この新たなキャンペーンと連動し、質上げに向け社会的気運を醸成していく。

「クラシノソコアゲ応援団!」 新たなキャンペーンを展開

規模企業振興憲章」に触れ、県内企業の9割を占める小規模企業は、地域住民を最大の顧客とする地域経済の



連合徳島森本会長と握手を交わす「大西聡」氏

森本会長は「2016春季生活闘争は定期昇給込みで4%の質上げを求める方針を決定し、「すべての働く者の処遇改善」を実現するために、「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環づくりをめざす」と訴えた。続いて、議員ネットワーク

事・川越全労済徳島県本部 本部長・仁木民主党徳島県連代表・庄野連合徳島議員 ネットワーク代表から挨拶を受けた。

さらに、同日開催された連合徳島執行委員会で推薦が決定された「大西聡」第24回参議院議員選挙選挙区選挙立候補予定者からは、推薦へのお礼および立候補に向けての力強い決意が述べられた。

乾杯の発声は、新居連合徳島会長代行が担い、歓談に入った。歓談の中では、第24回参議院議員選挙比例代表立候補予定者を擁立する各産別代表者から、現在の活動状況や立候補予定者の人柄などが紹介された。

「働くことを軸とする 安心社会」実現を

日本労働組合総連合会
会長 神津 里季生



新年を迎え謹んでご挨拶を申し上げますとともに、日頃からの連合運動に対するご指導・ご支援に心より御礼申し上げます。

現政権は、立憲主義や民主主義の基本に対し極めて傲慢な姿勢をとり続け、労働者保護ルールの改悪をはじめ、働く者を経済成長の手段としか見ない政策を進めようとしています。こうした政治に対する社会的な対抗軸を組織内外に広く訴え、「上から目線」の政治からの転換と「底上げ・底支え」「格差是正」を実現しなければなりません。新たに開始した「クラシノソコアゲ応援団! 2016RENGOキャンペーン」を通じて、春季生活闘争、組織拡大、政策・制度実現の活動、そして与党一強状態を打破するための政治の取り組みを運動させることが極めて重要です。

その上で、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた連合運動への理解と共感の輪を広げるべく、それぞれの立場で強く発信・行動していきましょう。

本年も、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

「世界で一番 働きやすい国」へ推進

日本労働組合総連合会
徳島県連合会 会長 森本 佳広



新年明けましておめでとうございます。旧年中は、連合徳島の運動に対しましてご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は、戦後70年の節目の年であり、全国各地で平和を考える行事がおこなわれました。連合徳島においても7月4日の徳島大空襲を語り継ぐ記念行事を行いました。時を同じくして、一昨年末の大義なき総選挙において圧倒的な勝利を収めた安倍政権は、強引な国会運営を行い、国の安全保障に関する憲法解釈を多くの憲法学者や法律家が違憲または違憲の疑いが極めて強いと指摘する状況の中で、国民に対する十分な説明をせず、かつ国民からの十分な理解得ることなく大きく変更し、関連する法律を成立させてしまったことは、戦後日本の歴史の大きな転換点となった年と言えます。

また、私たち連合が強い危機感を持ち、反対運動を展開してきました労働者保護ルールの改悪問題のうち、労働者派遣法の改正案が、戦後最長の会期延長となったこの通常国会で強引に成立させられました。

今後さらなる労働者保護ルールの改悪が待ち構えています。私たちは昨年の悔しさを忘れず、「世界で一番働きやすい国」をめざした2016春季生活闘争の展開と参議院選挙における推薦候補全員の当選をめざした闘いを推進して参ります。どうか本年も皆様のより一層のご支援・ご協力をお願いいたします。